

Basler、dartのBCON搭載モデルと エンベデッドシステム用開発キットを量産開始

Baslerは、ボードレベルカメラdartのLVDS対応インタフェースBCON搭載モデルの量産を開始した。dartシリーズは、コストを大幅に抑えたデザインと最高5メガピクセルの解像度、そして様々なマウント（Sマウント、CSマウント、ベアボード）を選べるというきわめて高い柔軟性を特長としている。

LVDS対応インタフェースBCONは、Baslerがエンベデッドシステム向けにカスタム開発したもので、カメラモジュールをLVDS (Low Voltage Differential Signaling) に対応のビジョンシステムに接続が可能。BCONを使用することにより、カメラとFPGA (Field Programmable Gate Array) に対応した最先端のエンベデッドプロセッシングプラットフォームとの間で信頼性の高い画像データ通信を行えるようになる。また、BaslerのボードレベルカメラモジュールdartとLVDS対応インタフェースBCONを併せて使用すれば、ムダのない画像処理システムの構築・運用が可能になり、エンベ

デッドビジョンシステムの開発コストの削減にもつながる。このほか、カメラモデルの変更についても、dartのLVDS対応インタフェースBCON搭載モデル間の移行であれば、余分なコストをかけることなく柔軟に進めることができる。

注：高速データ転送を行うインタフェース規格のこと。画像転送プロトコルは設定されていない。

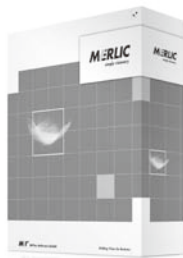


Basler Japan
<https://www.baslerweb.com/jp/>

リンクス、オール・イン・ワンの 最新版画像処理ツール 「MERLIC3」を販売開始

株式会社リンクスは、4月3日より、画像処理に必要な様々な機能が網羅されているオール・イン・ワンの画像処理ツール「MERLIC」の最新版、「MERLIC3 (マーリックスリー)」の販売を開始した。

「MERLIC」は、マシンビジョンのソフトウェアを開発する専門企業であるドイツのMVTec Software社が開発している画像処理ツールである。プログラミングが一切不要で、簡単な操作だけで画像処理システムを構築することができる。また、最新版の「MERLIC3」では、ディープラーニングの導入によ



り、OCR (Optical Character Recognition : 光学文字認識) 機能が強化され、多様なフォントをより簡単、かつ高精度に認識できるようになったほか、バーコードやQRコードの読取性能が大幅に向上し、歪みの強い画像にも対応できるようになった。また、処理時間がOCRで従来の1/3以下、位置決めで1/2以下となり、画像処理が大幅に高速化される。さらに、高ノイズ画像での安定した位置決めが可能となるほか、操作性が一般的に向上した。

株式会社リンクス
TEL : 045-979-0731
<http://linx.jp/>

Wave Technology、「磁界共鳴方式ワイヤレス給電」の設計・評価サービスを開始

株式会社Wave Technology (以下、Wave Technology) は、磁界共鳴方式(磁界共振方式、共振結合方式)ワイヤレス給電の設計と評価サービスを2017年3月より開始した。

Wave Technologyは、龍谷大学と共同で2013年に世界初(同社調べ)の方式による独自の「3Dフリーアクセスワイヤレス給電技術」を開発した。この方式は、複数送電コイルを利用することによって、受電コイルの回転角度の変化に対応したワイヤレス給電を可能とする。

■提供する主なサービスの内容

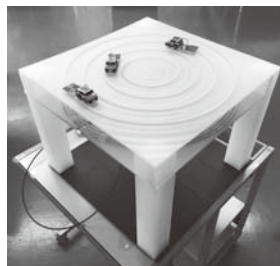
①ワイヤレス給電用コイルの設計サービス

アプリケーション(機器)に合わせて最適なコイルの設計を行う。同社が蓄積した技術とノウハウをもとに、電磁界シミュレータも活用して各種パラメータの最適化を行い低損失のコイルを設計する。また、コイルと周辺回路(高周波電源や受電回路など)との接続を最適化することで、ユーザが希望する伝送距離で伝送効率を最大化する。

②磁界共鳴方式ワイヤレス給電の評価サービス

ワイヤレス給電部分の伝送効率や出力電力の評価を実施する。ワイヤレス給電は、送電コイルと受電コイルの磁界共鳴がポイントとなるが、同社はこれを最適化する評価ノウハウも保有しているため、伝送効率の最大化が可能である。

また、ワイヤレス給電の課題の1つであるEMIについて、同社保有の簡易電波暗室を用いた測定サービスも実施する。



株式会社Wave Technology

TEL : 072-758-2938

<http://www.wti.jp/contents/contact.htm>

島津中国質量分析センターが「iF DESIGN AWARD 2017」を受賞

株式会社島津製作所の中国子会社である島津企業管理(中国)有限公司の研究開発施設「島津中国質量分析センター」が、「iF DESIGN AWARD 2017」を受賞した。

iF DESIGN AWARDは、全世界の優れた工業デザインを表彰する賞であり、国際的に権威のあるデザイン賞の1つとして知られている。iF DESIGN AWARD 2017には、59カ国から5,575点の応募があり、授賞式は3月10日にドイツのミュンヘンで開催された。

■島津中国質量分析センターについて

2015年10月に島津企業管理(中国)有限公司の北京分公司に完成した「島津中国質量分析センター」は、現地における質量分析計のシェア拡大や共同研究・共同開発の推進などを目的とする研究開発施設である。本センターは、アプリケーションを開発するラボとしての機能とショールームとしての機能を両立する“ショーラボ”というデザインコンセプトのもと設計されている。鳥瞰

すると同社のロゴマークの形になるよう、円形の空間の中で配管の露出を抑えて実験台を十字型に配置するなど工夫を凝らしたほか、入口にあえて高低差をつけることでラボを一望できるなどの仕掛けも施した。



株式会社島津製作所

TEL : 075-823-1110

<http://www.shimadzu.co.jp/>

ヴィレッジアイランド、 低遅延エンコーダとデコーダ 「VICO-4」の海外販売を開始



株式会社ヴィレッジアイランドは、TICOビジュアルリー・ロスレス (SMPTE RDD-35) 方式による低遅延エンコーダ、デコーダ「VICO-4」を2017年3月21日(火)より海外販売を開始した。

4K配信ソリューションに対する需要は、日本国内のみならず、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどワールドワイドに広がってきている。ヴィレッジアイランドは、今

回同社が開発したVICO-4の海外販売を開始し、ニーズに対してローコストで高品質な製品で4K放送事業に貢献していく。

株式会社ヴィレッジアイランド
<http://www.village-island.com>

PALTEK、congatec社と 販売代理店契約を締結

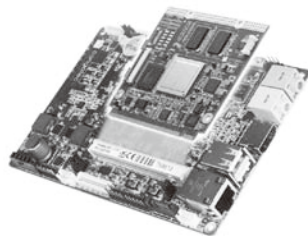
株式会社PALTEK (以下、PALTEK) は、組み込み向けコンピュータ・オン・モジュール (COM)、シングルボードコンピュータ (SBC)、組み込みデザイン/製造 (EDM) サービスで業界をリードするcongatec AGと販売代理店契約を締結した。これによりPALTEKは、今後成長が期待される組み込み向けコンピュータ・オン・モジュールや、小型シングルボードコンピュータ市場において、高品質な製品を供給することが可能となる。

現在、組み込み向けコンピュータでは、Intel、AMD、ARMといったCPUが採用されているが、CPU周辺の回路設計は各種インタフェースやメモリの高速化に伴い複雑になっており、設計工数は増加の一途を辿っている。しかし、CPU周辺の回路設計に多くの工数をかけてもCPUの性能以上のパフォーマンスにはならないため、CPU周辺の回路設計では差別化が難しい状況になっている。

PALTEKは、congatec社製品の取り扱いを開始することで、ユーザの開発リソースの削減に貢献し、市場に

向けて迅速にサービスを提供していくユーザのシステム、サービスの開発を支援する。

また、2017年5月に開催される「第20回組み込みシステム開発技術展 (ESEC)」においては、congatec社ブースを設置し、多くの来場者へ最新テクノロジーを搭載した各種モジュールを展示する予定である。



株式会社PALTEK
TEL : 045-477-2029 FAX : 045-477-2010
<http://www.paltek.co.jp/>

一般社団法人三次元スキャンテクノロジー協会 (3DST)を発足

一般社団法人三次元スキャンテクノロジー協会は、3D デジタイザを活用しきれていない方々、測定ノウハウをもっている、その技術の評価されない方々、新たな機材導入を図ろうとも適した機材がわからない企業などの支援をするために発足された団体となる。

同協会では「測るスキルを身につける」「測るスキルを認定する」の2つを掲げ、企業や技術者の礎になる測定ノウハウの普及活動を行うことで、日本品質「Japan Quality」のさらなる向上に貢献する。

■主な活動概要

①3次元計測マスターの認定 ②3次元計測技術に関する情報提供、出版および普及啓発活動 ③3次元計測技術の技術指導およびサポート ④新たな技術研究や事例開発 ⑤人材育成のための教育事業 ⑥国内外の3次元測定器の調査 ⑦展示会の開催 ⑧3DST会員向けの各種サービス

■3DST会員について

会員特典：各種セミナーへの優待参加／3Dデジタイザに関する事業の各種サポート、コンサルタント／3Dデジタイザの最新情報の提供／協会ロゴの使用（名刺やWEB、印刷物など）／協会が運営する企画等への参加／その他

【会費】当協会の目的や活動に賛同した法人または個人が入会可能。

- ・法人会員（入会金：10万円、年会費：30万円）
- ・賛助会員（入会金：10万円、年会費：20万円）
- ・個人会員（入会金：1万円、年会費：12万円）
- ・学生会員（入会金：0円、年会費：3600円）

一般社団法人三次元スキャンテクノロジー協会
TEL：050-5240-8774
<http://3dst.org>



産業開発機構（株）
映像情報インダストリアル編集部
TEL: 03-3861-7051

画像処理と MOT

マシンビジョン・ビジネス のための MOT

大橋 慶一 著

「映像情報インダストリアル」で連載された「マシンビジョン・ビジネスのための MOT（技術経営）」が書籍になりました！

マシンビジョンの市場に関する分析とビジネスモデル、技術要素に関する分析について解説します。

【お買い求めは下記 URL または E-mail にて】 本体価格 2,381円＋税

URL <http://www.eizojoho.co.jp/> E-mail sales@eizojoho.co.jp

国際産業技術、 Synologyとの業務提携を発表

さる3月15日(水)、国際産業技術株式会社(以下、KSG)は、都内の会場にて台湾のストレージベンダーであるSynology社とのエンタープライズパートナーシップに合意したことを発表した。KSGは、これまでSynology社製のストレージを取り扱ってはいたが、2次代理店での立場であった。今回、日本国内におけるエンタープライズストレージ市場への積極的な参入を目的に、あらためて1次代理店となった。

KSGが1次代理店となったSynology社は、台湾に本社を置きグローバルでNASシステムを供給しているストレージメーカーである。特に欧米での評価が高く、米TechTargetによる第10回「NASストレージシステムのユーザ満足度調査」にノミネートされ、ストレージ大手を凌ぎ、ミッドレンジ部門の総合ランキングで1位を獲得した。同社のNAS OSである、DiskStation Manager (DSM) のパフォーマンスの高さと、機能の先進性が、多くのユーザの支持を得ている。

会に先立ち、KSG代表取締役社長 立花和昭氏が登壇し、「3年ほど前より個人的にSynologyのNASを使用しており、使用しているなかで、Synologyの製品・サービスに感動した。そしてこの感動を多くの方に共有していただきたいという思いから、今回の代理店との合意に至った」と語った。



KSG代表取締役社長
立花和昭氏

続いて登壇したSynology Inc. CEO Vic Hsu氏は、「Synologyエンタープライズ向け販売戦略」について説明した。同氏は、これまでSynology社では、80カ国以上の国で480万台の販売台数という実績をもち、ユーザの声とトレンドを取り入れて多くのファンを獲得していると述べた。また、Synology社では研究開発に力を入れており、革新的で差別化できる高価な技術を、手頃な価格でユーザに提供するということが私どもの重要な

ミッションであるとSynology社の企業理念を語った。

日本市場への戦略として、同社ではヘビーユーザをターゲットにした販売戦略をとっていくという。ヘビーユーザの方々はパソコンやサーバに対する知識が豊富であり、よい製品であればその良さを周囲に広め紹介してくれる、そしてその内容は非常に信頼できるものであるからとのことである。



Synology Inc. CEO
Vic Hsu氏

次に、KSG執行役員 岩尾政則氏よりSynology製品の安全性、安心性などSynology製品の特徴について解説した。またKSGのサポート体制として、日本全国4時間対応体制を目標にサポートしていくと述べた。さらにオリジナルキャンペーンとして、機器を現地でセットアップするだけで使える「Synology PLUSシリーズHAパック」が用意されることも紹介した。



KSG執行役員
岩尾政則氏

国際産業技術株式会社
TEL : 03-3233-8005
<http://www.ksgnet.com/>

SICKとコニカミノルタ、 戦略的アライアンス契約を締結



左：SICK AG 取締役 ラインハルト・ベーズル氏
右：コニカミノルタ株式会社 執行役事業開発本部長 市村雄二氏

産業用センサメーカーのグローバルリーダーであるSICK AGは、コニカミノルタ株式会社と戦略的アライアンスに関する契約を締結した。

●アライアンスの内容

第一歩として、コニカミノルタは、独自開発の3Dレーザーレーダー^注の改変バージョンをSICKにOEM供給し、SICKは、この3Dレーザーレーダーに、工場や物流の自動化市場向けのインテリジェントセンサに特化したAppSpaceプラットフォームを実装。さらに両社は、急速に成長する自動化市場向けに、今までにない価値をもつセンサソリューションを提供するために、両社の幅広く補完的な技術ポートフォリオを活かして製品とソリューションの共同開発を行う。

●アライアンスの狙い

コニカミノルタは、強みをもつ光学技術を活かして独自開発した3Dレーザーレーダーなどのハードウェアと画像処理技術の組み合わせによる、状態監視のサービスソリューションの開発に取り組んでいる。ビル自動化、セキュリティ分野や自動運転分野などでは、高精度で高信頼性のハードウェアやデータ解析を用いた安全・安心の早急な実現が求められている。産業用センサソリュー

ションでグローバルリーダーであるSICKでは、あらゆる業種の現場の課題に応える革新的なセンサソリューションを提供している。

コニカミノルタとSICKは、アライアンスを通じて3Dレーザーレーダーの量産に向けた生産力とセンシング技術のさらなる強化を図り、ソリューション事業の基盤強化を目指す。

●展開

コニカミノルタとSICKは、3Dレーザーレーダー製品などの新たなセンサとセンサソリューションの共同開発も開始する。

注：コニカミノルタの3Dレーザーレーダーは、24ラインで隙間なく、かつ広角で高精度スキャンを実現している。3Dで物体認識が可能である特長を活かし、ハイセキュリティ分野やデジタルマニュファクチャリング、デジタルマーケティングなどの状態監視のサービスソリューションへの活用に向けた発展を見据えている。

ジック株式会社

TEL：03-5309-2116

<https://www.sick.com/jp/ja>

第一医科、 眼球運動検査装置用プログラム 「yVOG」を発売



「yVOG」解析画面

さる4月4日(火)第一医科株式会社は、医工連携により実現した耳鼻咽喉科領域で初めて認証されたプログラム医療機器である眼球運動検査装置用プログラム「yVOG」の発売にともない、都内会場にて医工連携セミナーを開催した。

「yVOG」は、山口県の「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」採択事業として、山口県産業技術センターのサポートにより、山口大学、画像処理技術を専門とする株式会社YOODS、医療機器製造販売のノウハウをもつ第一医科株式会社が共同で開発に取り組み、製品化したものである。

2014年の「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(医薬品医療機器等法)」の改正により、従来はPC等のハードウェアを含んだ構成での認められていた、診断・治療等を目的とするプログラムが、単体で医療機器として取り扱われるようになった。改正法の施行以降、耳鼻咽喉科領域で初めて認証されたプログラム機器が「yVOG」であり、また、回旋性眼振を記録できる、国内唯一のプログラム医療機器となる。

眼球運動検査装置は、めまい内耳機能、平衡機能の検査に用いられる。「yVOG」の導入により、眼球運動検査装置から得られる、映像記録等の情報処理を行うことが可能となる。画像解析による眼球運動、眼振運動の水平、垂直、回旋角度の取得や経時変化のグラフ表示、患者ごとのデータ管理や診断レポートの出力を行うことができ、よりスムーズな診療が可能となる。また「yVOG」を用いることにより脳神経外科、神経内科、救急外科での活用も期待できる。

「yVOG」は使い勝手にもこだわった作りとなってお



解析デモを行う山口大学の橋本誠氏

り、各種アイコンで直感的に使いたい機能がわかるようデザインされている。また、解析の準備段階で行う虹彩部分の指定、処理範囲の指定という校正作業も非常に容易に行うことができる。本校正機能は特許出願中とのこと。

本製品の販売価格は100万円前後を予定している。また、医工連携を進める3者は、高速(200fps)、高解像度(130万画素)、全画素同時グローバルシャッターを採用し、より軽量な次世代フレンチエル眼鏡を、本年7月の発売をめどに開発を行っている。

第一医科株式会社
TEL : 03-3814-0111
<http://www.first-med.co.jp/>